**令和２年度　事業報告書**

令和２年５月1日から令和３年４月３０日まで

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　特定非営利活動法人　京都難病支援パッショーネ

１　事業の成果

事業所開始してから初めて新規求人募集をストップしました。定員が一杯となったのと「今の建物では定員増加はできない」という第三者の見解が理由であります。

雇用契約を結ぶ難病患者は20人程度で推移しています。コロナ禍の環境で在宅勤務の割合を増やしましたが、在宅勤務が合って調子が良くなった人、合わなくて体調を崩した人2極化傾向を感じています。私自身この1年間で考え方がかなり変わりました。収入を上げる選択肢は何だかんだいっても一般就労が一番現実的だと思っていました。しかし今は副業で自分の力で収入を得る必要性を強く感じています。WEBに関わることの重要性を認識し、YouTube、やゲーム配信を通じて動画編集スキルを高める人が数名出てきたことを成果と捉えています。

２　事業の実施に関する事項

　(1) 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事　業　内　容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人　　　数 | 支出額(千円) |
| 難病患者に対する就労支援 | 就労継続支援Ａ型事業難病患者からの電話相談（就労関連以外も含む）難病患者からのメール相談（就労関連以外も含む）難病カフェをZoomで行い、情報発信することで難病患者の交流機会を提供する。 | 通年通年通年11月 | 事務所何処でも何処でもシンプティースタジオ | 37人5人5人10人 | 難病患者20人難病者とご家族50人難病者とご家族30人難病者とご家族30人 | 38,618 |